

特集「情報融合」に向けて

「情報処理学会論文誌：データベース(電子情報通信学会データ工学研究
専門委員会共同編集)」編集委員長

石川 博(東京都立大学) 大山 敬三(国立情報学研究所)
吉川 正俊(名古屋大学)

今回の論文誌データベース(TOD22号)には、2003年11月26日、27日に東京お台場にある日本科学未来館において行われた「データベースとWeb情報システムに関するシンポジウム(DBWeb2003)」(情報処理学会データベースシステム研究会主催、ACM SIGMOD 日本支部、電子情報通信学会データ工学研究専門委員会、日本データベース学会、文部科学省科学研究費補助金・特定領域研究「ITの深化の基盤を拓く情報学研究」A05班、情報処理相互運用技術協会、国立天文台協賛)で発表された論文10件が含まれています。このシンポジウムは「情報融合」をテーマとして設定し、さまざまな情報・コンテンツの融合や、関連する情報技術・応用技術の融合について議論することを目的として、下記のような一般セッションと特別セッションからなるシンポジウムとして開催されました。

(1) 一般セッション

Webデータへの知識処理の適用、テキストマイニング、XML、メタデータの構成と利用、情報の共有と協調利用、検索の高速化、並列・分散処理、バイオインフォマティクスへの応用

(2) 特別セッション

セマンティックWeb、グリッド、ユビキタス、モバイルコンピューティング、ストリーム、自律コンピューティング、ディベンダビリティ、セキュリティ

本論文誌編集委員会は、このシンポジウムを対象として下記のような特集号担当編集委員会を構成し、シンポジウムへの論文投稿時に、本論文誌データベース(TOD22号)への同時投稿を可能とし、同時投稿であり、かつシンポジウムに採録された論文については、シンポジウムにて、編集担当委員より適切で親切なコメントを行うことを原則とした論文募集を行いました。

特集号担当編集委員会：石川 博、市川哲彦、佐藤 聡(ゲスト編集委員)、土田正士(ゲスト編集委員)、原 隆浩

それらの論文の中から、次に10件の論文が採録され、本論文誌(TOD22号)に掲載されています。

- (1) 「Query Networkによる情報発見・収集支援」
- (2) 「複数のモバイル端末による協調ブラウジングのための木構造型コンテンツ記述方式と分割方式」
- (3) 「公開されている論文DBからのマクロ情報抽出に対するリサーチマイニング手法と他手法の比較」
- (4) 「パスオートマトンによるXML文書の解釈」
- (5) 「感性品質評価語辞書を利用したテキストマイニング」
- (6) 「隠れマルコフモデルを利用した遺伝子発現情報と位置情報の統合」
- (7) 「センサデータの視覚化のためのインクリメンタルな空間集約手法」
- (8) 「パスイテータベース：バイオロジーにおける高次知識のデータベース化」
- (9) 「個人情報の分散協調保護機構の提案とWebサービス上のInstant Messageへの適用」
- (10) 「Peer-to-Peerシステム上での効率的なデータ配置による問い合わせ処理とロードバランスへの寄与」

このシンポジウムにおいて、本論文誌への投稿を前提とした議論を行う過程は、著者にとっては大変有意義なものであると考えられるので、今後もこの形態の論文募集を実施していく予定です。